

PTAとの 意見交換会

令和3年11月6日 緑が丘文化会館

コロナ禍ではありましたが、今年度初めての対面型座談会がついに開催できました！
各ブロックとも小中学校のPTAの方々と熱い意見交換が行われました。

● 北部ブロック(分散会グループA)

「コロナ禍でのPTA活動と地域の関わり」をテーマに話し合いが行われ、まず、「今困っていること」として、各学校のPTAにおいて活動のノウハウの引継ぎが思うように実施できない状況が語られました。後半は「コロナ収束後に地域と一緒に行ってみたいこと」として、キャンプ等各住区のイベントの情報交換を行うとともに、PTAから「家族と学校以外に人とつながることができる環境づくり」のための地域活動に対する期待が寄せられました。



● 東部ブロック(分散会グループB)

ハロウィン関連行事や安全マップ作りなど、直近、実施できたイベントの情報交換から意見交換はスタートしました。後半では、PTAの1人1役の廃止方針、ラインの公式アカウントを使ったPTA会員に対するリーチ力の向上、Zoom、YouTubeの活用法などコロナ禍ならではの内容でも話が盛り上がりました。地域教育懇談会などで顔見知りのメンバーが多かったことから、和気あいあいとした雰囲気でも活発な意見交換が行えました。



● 中央ブロック(分散会グループC)

和やかな雰囲気の中で、「学校開放の体育館使用後の消毒が大変！」と、コロナ禍での消毒に関する数々の泣き笑いエピソードから始まりました。子どものマスク問題も話題に上がり、「表情が読み取りにくいので、先生は透明マスクで対応したら子ども達は助かるのでは？」他アイデアがだされました。

意見交換は、「通学路の危険箇所をすぐ直すには？」と真面目な話に続き、最後は、「コロナが落ち着いたらイベントを再開したいし、中学校に小学生が集まる機会を作りたい！家庭教育講座にオンライン文化を残して多くの人が聞けるようにしてほしい。」など、コロナ後の日々へ期待がふくらみました。



● 南部ブロック(分散会グループD)

「PTA活動が縮小したことで、子育てに時間を割くことができた。来年度も活動を縮小したままでよいとの意見が多そうです。」との話。一方で、「リモートの良さを知ったが、対面の活動ほど印象が残らない。」「保護者会もリモート。先生の顔も知らない。PTA茶話会や雑談も必要だと思うようになった。」と新しい気づきがありました。「毎年のイベントは長い年月をかけて作り上げてきた理想形でもある。このまま止めていいのか。」との危機感も。「住区が主導してくれるとPTAは動きやすい。」と、地域丸ごとで子どもの育ちを見守りたいと話し合いました。



● 西部ブロック(分散会グループE)

コロナ禍における行動制限により人と人とが「出会う機会」がとても減っているせいで来期のPTA役員選出や地域活動への勧誘がしづらいなどの影響が出ていて、地域におけるさまざまな活動に不安が生まれていることが話の中心となりました。

初顔合わせの方もいる中で非常に和やかで楽しい空気の中で打ち解けることができたのもやはりこうして面と向かって話せる懇親の場だから…会って話して仲間になってというのが本来の理想だということを再確認する会になりました。

